

## V 障害者生活支援センターきよく

令和4年度の事業計画に基づいて以下の事業を行いました。

### 1 実施事業

#### (1) 利用者状況

令和5.3.31現在

事業名	対象利用者
特定相談支援・障害児相談支援	240名

### 2 重点実施事項

#### (1) 利用者の意思決定を尊重したサービス等利用計画の作成

ア 利用者や家族、関連する事業所から聞き取る際に、その背景にある課題等に目を向け、細かいところまで支援が行き届くようにしました。また、サービスについては、利用者や家族に丁寧な説明をして利用につなげることができました。

イ 家族の入院や高齢により在宅での支援が難しいなどの理由で、長期の短期入所を利用せざるを得ない方が複数名いました。家族から丁寧な聞き取りをしながら、行政や関連する事業所とも連携してサービス等利用計画を作成しました。

#### (2) モニタリング報告書の質の向上

一定期間ごとに聞き取る機会を作り、新型コロナウイルスの感染防止を考慮して電話の他、オンラインを使用して対面でも行いました。聞き取りでは目標達成度を確認し、適切なサービス利用が継続できるようにしました。また、事業所内で様々な事例等について意見交換をして、質の向上に繋がるようにしました。

#### (3) 他関係機関との連携強化

サービスを利用されている各事業所にこまめに連絡を取り、必要に応じてサービス担当者会議を開催して、共通認識のもと支援を行えるようにしました。また、2ヶ月ごとに開催された久喜市計画相談支援連絡会に出席し、様々な事例について意見交換をするなど、他関係機関との連携強化を図りました。

### 3 具体的取組み

#### (1) 令和4年度の予定件数

##### ア 指定特定相談支援（成人）

サービス等利用計画	130件
モニタリング	424件

##### イ 指定障害児相談支援（児童）

サービス等利用計画	1件
モニタリング	0件

#### (2) 人材育成

- ア お互いが抱えている事案について情報を共有し、サービスの提供について意見交換を通じて、専門性が高まるようにしました。
- イ 久喜市相談支援連絡会に出席し、様々な情報の共有やケース検討などを通して、知識と技術の向上に努めました。また、法人研修の他、法人内の相談支援センターの内部研修に参加したり、外部研修である発達障害や自閉症、相談支援の専門研修を受講して、専門性の向上を図りました。

### **(3) 感染症防止対策**

電話での説明や聞き取りの他、設備が整っている事業所では、オンラインを使用して双方の顔が見える形で行いました。

### **(4) 事業運営**

- ア 新型コロナウイルス感染症に十分配慮した上で、可能な範囲で事業所に訪問しました。事業所での様子や取り組みをモニタリング報告書に反映し、加算の取得につなげました。